

第3学年 防災教育学習指導案

日 時 平成28年11月9日(水)
 学 級 3年2組(男12名 女16名 計28名)
 場 所 3年2組教室
 指導者 臼沢 紀子

- 1 題材名 「災害に備える」
- 2 資料名 「いきる、かかわる、そなえる」 p66, 67
- 3 ねらい 身近な地域のハザードマップなどを活用し、災害時に被害が起こりそうなところや避難する所をしるした防災マップを作成し、更に防災マップづくりを通して災害図上訓練(DIG=Disaster(災害) Imagination(想像力) Game(ゲーム))を行って災害を知り、災害発生後に何をしなければならないか、また災害の被害を少なくするためには、日頃から自分たちでできること、やらなければならないことは何かを考え、防災力を高める。

4 題材設定の理由

(1) 価値について

防災教育のねらいは、「『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」(文科省2010)に示した安全教育の目標に準じて、次のような3つにまとめられる。

ア 自然災害の現状、原因及び減災等について理解を深め、現在および将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意思決定や行動選択ができるようにする。

イ 地震、台風の発生などに伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができるようにする。

ウ 自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。

そこで本校では、「いわての復興教育」における3つの価値項目と具体の21項目を年間指導計画に位置付け、更に釜石市の「いのちの教育」の目標をもとに、3学年においては、自然災害の歴史について調べ、かまいしの防災について提言することを計画している。これまで釜石の災害の歴史を調べ、釜石は自然災害の中で、水害の対策をしなければならないことを理解した。そのことを受けて、今回の災害図上訓練を通して、その対処法を自ら考え、防災力を高められるようにしたい。

(2) 生徒について

今回の授業を行うにあたって、防災に関するアンケートを行った。結果は以下の通りである。

表1 アンケート結果(10月3日 28名実施)

質 問		はい	いいえ	わからない
1	あなたは自分が住んでいる地域の避難場所を知っていますか。	25	3	
2	今まで地域の避難場所に避難したことがありますか。	6	22	
3	あなたは自宅から避難場所への避難経路を知っていますか。	18	10	
4	災害が起こった時、家族で集合する場所を知っていますか。	11	17	
5	災害に備えて、日頃から食料品や生活必需品などをそろえていますか。	9	5	14
6	家族で災害に備えて、確認している事や話しあっていることがあれば書いてください。	・一人でもいいから逃げること ・親・家族を捜そうとせず、その避難場所で待つ		

はじめに、3年生では釜石の災害の歴史について3つの観点から調べた。①釜石にある石碑からわかること。②釜石の地名の由来について③釜石の地形と台風との関わり、についてである。その結果水に関連する地名が多い事、石碑は津波に関わるものが多く、海沿いに多数あること、釜石の地形は100年前と比べてさほど変わりはなく、ただし水害の被害から町を守るためにダムが建設されたこと、さらに台風による被害が増えてきていることがわかった。そのため、台風や地震など、これから起こる災害に備えて対策をとる必要性を感じた。生徒の感想からも、「災害時の対策についてもっと学び、自分の身を守ることができるように意識していきたい。」とあった。このことから釜石のハザードマップを使って、台風などの災害時被害が起こりそうな場所を予測し、また避難場所を確認し、さらにDIGを行うことで、日頃から自分たちで出来ること、やらなければならないことを考え、防災、減災への意識を高めていきたい。またアンケートから、今まで実際に避難場所へ避難したことがある人が、東日本大震災時の6人のみという状況であった。避難勧告が出たとしても、実際に避難する家庭が少ない事もわかった。先日の台風10号のように、避難が遅れ、被害が増えることがないように、身近に起こりうる自然災害に対してより、主体的に動き、そして地域を支え、協力し、貢献できる人物になってほしいと願う。

(3) 資料について

東日本大震災のときに、中学生や高校生が、学校で避難してきた人々に食料を配ったり、支援物資を運んだりするなど、たいへん活躍した。災害発生時に中学生として何ができるかについて考えることができる。

(4) 研究主題との関わり

研究主題「自己肯定感をもち、復興に貢献しようとする生徒の育成」
～いのちを大切にし、郷土を理解する活動を通して～

自然災害の発生のメカニズムや被害の実態、災害時の適切な行動を理解させることにより自他の命を大切にすることを育み、自己肯定感を高める。

5 指導計画（総合的な学習の時間）

(1) 単元目標

釜石の自然災害の歴史について調べ、これからの釜石の防災について、自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動する力を身につけることができる。

(身に付けさせたい資質や能力)

〈学習活動への主体的・創造的な態度〉

- ・自然災害について関心をもち、災害対策について意欲的に考え、調べる。

〈課題設定の能力〉

- ・釜石の災害の歴史を知り、これからの釜石の自然災害を予測し、防災について考える。

〈問題解決への思考・判断〉

- ・資料から、釜石の災害の歴史について調べ、防災上の課題を考える。
- ・今後の災害を想定し、その時どのように行動すべきかを考え説明する。

〈学習活動に関わる技能・表現〉

- ・釜石の災害の歴史や地域の災害図上訓練で考えた内容について、発表・表現する。

	授業内容	具体の21項目・副読本との関連
第1時	釜石の災害の歴史を調べる	⑰【自然災害の歴史】
第2時	釜石の災害の歴史をまとめる	⑰【自然災害の歴史】
第3時	釜石の災害の歴史を発表し、共有を図る	⑰【自然災害の歴史】

第4時	災害図上訓練① (地域防災環境の把握)	㊟【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「いきる・かかわる・そなえる」p66,67
第5時(本時)	災害図上訓練② (被害予測や防災対策の検討)	㊟【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「いきる・かかわる・そなえる」p66,67
第6・7時	現地調査(まち歩き)	㊟【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「いきる・かかわる・そなえる」p66,67
第8時	まとめ	㊟【学校・家庭・地域での日頃の備え】 「いきる・かかわる・そなえる」p66,67

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・自分の住む地域の防災上の強みと弱点を知り、起こりうる災害を想定し、災害発生後、どのように行動すればいいのか、また自分たちに何ができるかを考える。
- ・グループでの話し合いを通して、様々な地域の防災対策への理解を広げる。

(2) 本時の評価規準

身に付させたい資質や能力	評価規準
学習活動への主体的・創造的な態度	自然災害について関心をもち、災害対策について意欲的に考え、調べることができる
問題解決への思考・判断	災害を想定し、その時どのように行動すべきかを考え、説明することができる
学習活動に関わる技能・表現	災害図上訓練で考えた内容について、発表・表現することができる

(3) 本時の指導

前時に災害図上訓練の1回目を行った。地域の避難場所、避難経路、病院や消防署などの防災関連施設の場所も確認した。本時は起こりうる災害を想定し、地域の特徴(プラス面・マイナス面)を知り、地域にどのような課題があるかを知り、課題改善のために、その時どのように行動すべきかをグループで討議し、発表する。そしていざという時に、自ら判断し、速やかに動き、行動できる力を身につけてほしい。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	0 学習への雰囲気づくり 大雨・洪水の様子の記事や写真を見る 1 課題設定 前時に透明シートに油性ペンで記入した各色の意味や、5色シールの内容について確認する	・雰囲気づくりを心がける ・自分の自宅近くの環境を知るように努めさせる	
展開 (35分)	地域の特徴（プラス面・マイナス面）を知り、災害時の取るべき行動を考えよう！		
	2 課題の追究 地域の特徴を考え、災害時にどのように行動すべきかを考える。 ① 大規模な地震（震度6弱以上）の場合 ② 豪雨災害の場合 ・個人で各付箋紙に書く。 地域の特徴→緑色の付箋紙 プラス要素→青色の付箋紙 マイナス要素→赤色の付箋紙 ・前時に使ったDIGの透明シートに、大規模地震と豪雨のときのハザードを色別に斜線を引く。 ・災害によって起こり得ることを黄色の付箋紙に書く。 3 課題解決 (1) グループ討議 模造紙に付箋を貼り、災害時にどのように行動すべきかを考え、まとめる。 (2) グループ発表 ・代表者が発表する ・質疑応答する	・最初に個人で考えさせるよう心掛ける ・ハザードを記入した後、議論のポイントを伝える。 ① 道路が寸断される（孤立する）危険性はないか。 ② ハザードの中に役場、消防署などの施設がないか。 ③ 自宅から避難場所への安全性は保たれているか。 ・話し合い活動がスムーズに行われるように支援する ・災害図上訓練で使ったマップを使って、グループごとに代表者に発表させる	○自然災害について関心をもち、災害対策について意欲的に考えたり、調べたりしている 【学習活動への主体的・創造的な態度】 ○災害を想定し、その時どのように行動すべきかを考え説明することができる 【問題解決への思考・判断】 ○災害図上訓練で考えた内容について、発表・表現することができる 【学習活動に関わる技能・表現】
終末 (10分)	4 まとめ 5 次の予告	・今日の学習での感想を書かせる。 ・何人かに発表させる ・実際に自分達の住む地域の現地調査（まち歩き）を行うことを予告する。	

「釜石の防災について考える」

3年__組__番氏名_____

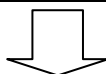
自分の地域の特徴をあげよう！また災害時、どのように行動すべきか考えよう！

※模造紙のまとめ方

(_____) 地区 メンバー _____

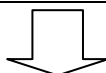
・ 地域の特徴（例：過去にも大雨で土砂災害の被害を受けた地域など）	
特徴を活かせる面	課題と思われる面
（例：商店が多い。お互いに顔見知り。）	（例：一人暮らしの高齢者が多い。）

災害時に起こりえること



--

どのように行動すべきか



・
・
・

今日の授業の感想

.....

.....

.....

.....

.....